

1249 1250

關

八

主任	局長	課長	大官	大員	件名
大正七年七月七日	大正七年七月七日	大正七年七月七日	大正七年七月七日	大正七年七月七日	臨時航空練習三隊充件
大正七年七月七日	大正七年七月七日	大正七年七月七日	大正七年七月七日	大正七年七月七日	中省領第2078號
大正七年七月七日	大正七年七月七日	大正七年七月七日	大正七年七月七日	大正七年七月七日	應名
大正七年七月七日	大正七年七月七日	大正七年七月七日	大正七年七月七日	大正七年七月七日	軍事課

事務員 竹野弓 事務員 神佐深 鏡北深 岩野深

七年
七月七日
臨時航空練習三隊充件

聯帶課長
審案筆記者
貞塚

大正七年七月七日
二二三

1749 1750

八

臨時航空練習隊

局長	聯	主務局長	主務課長	主務課長	審案筆記者
課長	帶				
課長					
課長					

官	官	官	官	官	官
臨時航空練習隊	臨時航空練習隊	臨時航空練習隊	臨時航空練習隊	臨時航空練習隊	臨時航空練習隊
臨時航空練習隊	臨時航空練習隊	臨時航空練習隊	臨時航空練習隊	臨時航空練習隊	臨時航空練習隊
臨時航空練習隊	臨時航空練習隊	臨時航空練習隊	臨時航空練習隊	臨時航空練習隊	臨時航空練習隊

事務官 佐野 佐野 佐野 佐野 佐野

大正 六月 三日

軍事課

決裁案

佛國より派遣せし可中將校以下ニ就テ航空
 ニ関スル諸般ノ事項ヲ傳習せしムル為別隊甲
 号ノ通臨時航空術傳習隊ヲ設置シ
 尚年費長ニ別隊乙号ノ通訓令ニ關係ノ
 向ハ別隊丙号ノ通達書ニ後

此件研究會金銀或於書名等中國ノ不

(別冊甲号)

臨時航空術講習委員

委員長

少将 一

委員

佐(尉)官 日相当官

若干名

但レ内一名ヲ幹事員

陸軍

(別紙乙號)

陸訓第

四一

號

五月十日

井上委員長ニ與フル訓令

一、臨時航空術練習委員設置ノ目的ハ佛國ヨリ派遣セラレハキ將校以下ニ就キ航空ニ関スル諸般ノ事項ヲ練習シ國軍航空術ノ發達ニ資スルニ在リ

二、練習科目ハ航空機ノ操縦射擊爆彈投下通信寫真工場設備並製作修理等トシ練習期間ハ概ネ三箇月トス

佛國派遣員ハ團長ホ一ル大佐以下約六十名ニシテ内將校十九名准士官以下二十二名ハ一月上旬到着ノ豫定ナリ

三、貴官ハ佛國派遣員及練習委員ヲ指揮シ專習將校以下約四十五名ノ練習ヲ行フヘシ

四、練習ニ関スル計畫及實施ノ大要ヲ報告スヘシ

大正七年十二月 日

1754

臨時航空術練習委員長

陸軍大臣
殿

(別紙丙号)

臨時航空術練習ニ関スル件

(陸軍)

臨時航空術練習委員長、兵器本廠長、東京陸軍部長、

臨時軍用気球研究會長、近衛、第一、第三、第五、第六

師團長、(東遠) 陸軍部長、(東遠) 陸軍部長、(東遠) 陸軍部長

佛國陸軍ヨリ派遣スル將校以下ニ就テ航空術ヲ練習スル

為左ノ趣心得ニシ

一、臨時航空術練習委員事務所ハ所澤臨時軍用気球

研究會内ニ設置スニシ

二、委員員ハ將校以下の四十五名トシ練習期間ハ約三箇月

トス

三、練習中ハ概テ所澤及各種事務ヲ司ル

四、練習上必要ナルトキ臨時航空術練習委員長ハ臨時

軍用兵球 研究會長及 航空大隊長、協議之 其ノ人

馬器材及 建物ヲ 使用シ 建物の在りたる所管に 理部長ノ承認ヲ 得テ 又 要スル

ハ 備有 關係 地 所 管 師 團 長ニ 稟 議シ 其ノ 援助

ヲ 求ムルコトヲ 得

五、 備有、 為 特ニ 要スル 兵器 彈藥 其ノ他 天幕 等ノ 使用

下付ハ 季 負 長ヨリ 陸軍 大臣ニ 申請スルコト

六、 佛國 派 遣 員ニ 事務 所、 宿舎 及 船 車ヲ 供給シ 食費

ハ 通 常 之ヲ 自 辦トス

七、 本 件ニ 要スル 經費ハ 臨時 軍 需 費ノ 支 辨トシ 陸軍

省 理 部ニ 請求スル 陸軍省 陸軍 第四〇一不號 三月十日

1757

(炎)

軍事譯連帶

第一部

第二部

第三部

第四部

臨時航空術練習委員二關文件

件名	臨時航空術練習委員二關文件		大員	決裁	主務局長
領號	貳第20七八號		次官	參事官	主務課長
領名	其二廳名 五員		高級副官	主務課員	主務課長
領	課		主務副官	主務課員	主務課長
領	課		主計	主務課員	主務課長
領	課		主計	主務課員	主務課長

(陸軍)

次官ヨリ内務次官、外務次官、大藏次官

鐵道院副總裁、通牌案

人ヲ殺佛國ヨリ派遣セラレ可キ將校以下ニ就テ航空術
練習ノ爲臨時航空術練習委員ヲ編成シ其事
務所ヲ所澤臨時軍用氣球研究会内ニ開設シ
陸軍少將井上幾太郎ヲ同委員長ニ任命相成候ニ
就テ右ニ関シ御援助ヲ求メ候場合ハ可然御配
慮相煩度候也

追テ佛國派遣團將校以下約四十名一月月上旬神
戶着、横濱ニ到着、豫定ニ有之候ニ付關係
ノ向、可然御通達相成度候

陸軍次官ヨリ海軍次官へ通牒案

佛國ヨリ派遣セラル可キ將校以下ニ就テ航空術ヲ
練習セシムル爲臨時航空術練習委員ヲ設置シ
其ノ事務所ヲ所澤ニ開設シ陸軍少將井上幾太郎
ヲ同委員長ニ任命シ概テ一月下旬ヨリ練習開始
ノ豫定ニ有之候ニ付及通牒候也

陸軍省
四二四一號
十二月十四日

0941














工兵課預部

第一部

第二部

應名 軍事課

臨時航空術講習ニ関スル件

大正 1 年 大正 7 年 大正 7 年 12 月 12 日	大正 7 年 12 月 12 日 大正 7 年 12 月 12 日	大正 7 年 12 月 12 日 大正 7 年 12 月 12 日	大正 7 年 12 月 12 日 大正 7 年 12 月 12 日
局長 	主務局長 	次官 	參事官 
課長 	主務課長 	高級副官 	主務副官 
審案筆記者 	主務課員 	主計 	

陸

海

上奏案

今被佛國より激進朝廷へキ佛國陸軍大佐「フオル」
 以下^約六十名ニ就キ帝國將校^{以下}四十五名ヲシテ来
 一月上旬より三箇月間航空ニ関スル諸般ノ事
 次ヲ練習セシメテ
 右様テ上奏ス

十二月十八日

1262

軍事課連帶

第 二 〇 七 八 號
海 軍 省

航空術練習ニ關スル件

五

次 官



高級副官



主務副官

主 計

參 事 官

主務局長



主務課長



主務課員



裁

決

三教日第 一 八 一 號

大正 八 年 一 月 十 一 日

大正 八 年 一 月 十 三 日

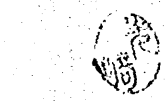
大正 年 一 月 十 三 日

大正 年 一 月 十 三 日

主務局長

主務課長

主務課員



原

陸軍部 次官ヨリ海軍次官ニ回答案

首題ノ件ニ關シ一月十日官房第七九號ヲ以テ照會ノ趣了承練習委員參加ニ關シテハ異存無之其人人員等ニ關シテハ貴省當事者ヲシテ直接練習委員長ニ協議セシメラレ度候也

月三十一日

陸軍部 副官ヨリ臨時航空術練習委員長

一通牒案

首題ノ件ニ關シ別紙甲號ノ通照會有之乙號ノ通回答相成候也可然百計成度言也

(別紙)

陸軍省 陸軍第七一號

一月十日

トス 甲種ハ海軍少官ヨリノ照會乙種ハ全四各

陸軍



至
急

武
藏
大
正
七
年
一
月
十
日

海
軍

官
務
簿
七
九
號

一
月
十
日

大
正
八
年
一
月
十
日

海
軍
次
官
枋
内
曾
次
郎

陸
軍
次
官
山
梨
半
造
殿

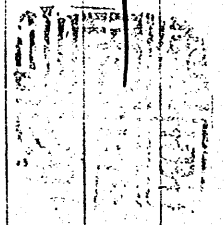
航
空
術
練
習
之
關
ス
ル
件

大
正
七
年
十
二
月
十
四
日
附
陸
普
第
四
二
四
一
號
一
ヲ
以
テ
御
通
牒
ノ
本
件
ニ
關
シ
海
軍
ヨ
リ
モ
將
校
下
士
等
若
十
數
名
並
ニ
技
手
職
工
若
干
名
練
習
ニ
參
加
セ
シ
メ
度
候
條
御
承
諾
ヲ
得
度
右
照
會
ス

終

(明
正
印
刷
機)

1265



1766

大正 八年 一月 廿三日	大正 八年 一月 廿三日	大正 八年 一月 廿三日	大正 八年 一月 廿三日	主務局長	參事官	次官	高級副官	主務副官	主計	主務課員	審案筆記者
大正 八年 一月 廿三日	大正 八年 一月 廿三日	大正 八年 一月 廿三日	大正 八年 一月 廿三日	主務局長	參事官	次官	高級副官	主務副官	主計	主務課員	審案筆記者
大正 八年 一月 廿三日	大正 八年 一月 廿三日	大正 八年 一月 廿三日	大正 八年 一月 廿三日	主務局長	參事官	次官	高級副官	主務副官	主計	主務課員	審案筆記者
大正 八年 一月 廿三日	大正 八年 一月 廿三日	大正 八年 一月 廿三日	大正 八年 一月 廿三日	主務局長	參事官	次官	高級副官	主務副官	主計	主務課員	審案筆記者

佛國航空圖詳調件

武島三子

二二三三

應名



外務大臣ノ書

首題ノ件ニ關シ本月二十日陸軍部第一八二号ノ
 次ヲ及ビ令置能該團員人名ハ別紙人表
 表ノ通訂正追加其成度又同一行ハ本國
 ノ規定ニ依リ戰時中大禮服ニ着用セザ
 ルニ付通常常服ニテ拜謁被作付依核成
 成計其成度也

陸軍部第二〇二號 一月廿三日

陸軍部

佛國航空團將校人名表 (列次)

砲兵大佐

Thouze

砲兵少佐

Ragon

工兵少佐

Thomas

砲兵少佐

Flury

騎兵少佐

Levine

工兵少佐

Robbet

砲兵中尉

Jordaly

歩兵中尉

Warren

歩兵中尉

Brisard

1768

1768

砲兵中尉	步兵中尉	工兵中尉	騎兵中尉	砲兵中尉	航空兵少尉	騎兵少尉	航空兵少尉	騎兵少尉	輜重兵少尉
Richardson	Perrin	Vanbergseeke	De Tongorlay	Tomisse	Decker	Clement	Sequela	Soubtan	Saland
									Harmond

歩兵少尉
歩兵少尉
歩兵少尉

Boston
de Piss
decompte
計二ナニナ

五
五

1221

閣

房官臣大	課局務主	費	決	大臣	件	受
了結	出提				名	號領
大正 年	大正 年 一月廿三日				佛國航空團拜謁 御苑拜觀ノ件	武功二〇七八号
長	局帶聯	主務局長	參事官	次官		
長	課帶聯	主務課長		高級副官		應名
者	記筆案審	主務課員		主務副官		
				主計		

第一部
第二部
第三部

外務大臣、巡會

陸善

今般來朝、佛國航空團將授以下別紙申
 辨人名、者、東、八、二十七、二十八日、
 謁被仰付候様又別紙乙辨、者、濱離
 室又、新宿御苑、拜觀被差許候様御
 取計、其成度及巡會候也

第一八二號

一月廿二日

官名

佛國航空團將校人名表

砲兵大佐	Jacques Paul Faure
砲兵少佐	Louis Auguste Rogon
工兵少佐	Gabriel Jacques Vermees
砲兵少佐	Ramier, Henry
騎兵少佐	Charles, de la Roche
砲兵中尉	Jean, Godot
歩兵中尉	Albert, Brissaud
砲兵中尉	Georges, Richardson
工兵中尉	Eugene, Vandenberghe

騎兵中尉	騎兵少尉	航空兵少尉	航空兵少尉	騎兵少尉	輜重兵少尉	歩兵少尉
------	------	-------	-------	------	-------	------

Albert, De Vergorlay.	Pierre, Clement	Stienne, Seguela.	Joseph, Henry, Loustan.	Alfred, Geland.	Paul, Harmand.	Francois, Bertin
-----------------------	-----------------	-------------------	-------------------------	-----------------	----------------	------------------

第十七名

1225

大官房 了結 大正 年 六月 五日		大官房 領受 大正 年 六月 五日		主務局 提出 大正 年 一月 五日		主務局 領受 大正 年 一月 五日		番號 大正 年 一月 五日		裁 決 大臣 參 次 官 高級副官 主 計 主務副官		件 名 佛國航空團將校謁見口問名 伸		受 領 號 第 三 一 三 三 號 廳 名	
聯帶局長				主務局長				參事官				次官			
聯帶課長				主務課長				高級副官				主務副官			
審案筆記者				主務課員				主計				主務副官			

外務大臣、通條

此書

本日午前十時三分、謁見被仰付、佛國
航空團將校中左記三名、病氣、為參
内難致旨申出、原可無事、計成
度、也

筆記

(別紙、通)

本件、外務電報、其内容、係、外務省
、通、条、條
、其、付、事、由、者、一、公文、三、通、条、不、
ト、不、分、也

二一九號
月廿日

陸軍省副官

青木政喜殿

如依一級多程官候有以候一書記三(海)

早御

佛國航空團將校拝謁不参ノ件通牒

大正八年壹月廿六日 臨時航空術練習委員

陸軍省副官青木政喜殿

來廿七日午前土時半拝謁ノ儀 勅諭相成候佛國航空

團將校ノ内左記二名ノ者ハ病氣ノ為メ参内致兼候趣

團長「フォル」大佐ヨリ申出候ニ付宮内省ハ傳達方可然、御取計

相成度候也

騎兵少尉	航空兵少尉	左記
Malanok	Joustan	Seguela
陸軍	ル	ノ

222T

大正六年一月十四日

大正六年一月十四日

外務大臣青木周藏

陸軍大臣田中義一

傳聞祇忠志將校謁見狀

人負迄加於。其。因。各。件

一般來訪ノ傳聞。祇忠志將校十七名

。對。才。ハ。二十七日午前。十一時。迄。午。分

天皇陛下。謁見仰存。今。元。九。日。旨。被。作

出。テ。該。員。等。宮。内。大臣。等。通。達。有。之。其

儀。以。初。次。申。進。呈。上。意。及。之。迄。加。人。負

トシテ口生 将校工兵少佐
名ニ対シ
ジヨツセ 以下六

天皇陛下ニ 謁見被仰身
及務候事
右ニ対シテモ 同日同時刻
ニ右謁見ノ節 謁見仰身
作出被 扱仕内大臣
及務候事
右ニ対シテモ 同日同時刻
ニ右謁見ノ節 謁見仰身
作出被 扱仕内大臣
及務候事

1284T

大臣
送第三一號

大正八年一月二十三日

第ニ〇七八號 其二

月廿四日

外務大臣子爵 内 田 康

陸軍大臣 田 中 義 一 殿

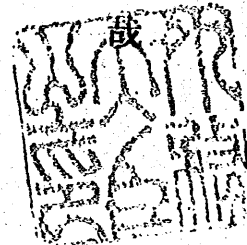
佛國航空團將校謁見願ニ關シ回答ノ件

今般來朝ノ佛國航空團將校十七名 天皇陛下ニ謁見被仰付度旨本月二十

二日附陸普第一八二號ヲ以テ御照會ノ趣了承右ハ早速宮内大臣へ及移牒置

候處來ル二十七日午前十一時三十分謁見仰付ラルル旨被仰出候趣今般宮内

大臣ヨリ通牒有之候間右様御承知相成度此段申進候也



外 務 省

1841

閣

閣

大臣 陸軍指掌

陸

軍事課 連帶

五

七年貳第ニ七八號
臨時航空術練習ニ關スル件
工兵課

房官臣大 課 局 務 主

了結領受 出提領
大正 大正 大正
年 年 年
二月七日

裁 決

工教自第ニ五號

長 局 帶 聯

主務局長

印

長 課 帶 聯

主務課長

印

者 記 筆 案 審

主務課員

印

主 計

印

原書紙(在館中)

軍

七年貳第ニ七八號
二月七日

100

100

100

100

100

100

100

陸普

次官ヨリ交通兵團長ニ通

牒案(普由)

今般来朝セハ佛國陸軍航空團ニ就テ航空

術ヲ練習スル爲臨時航空術練習委員

ヲ設ケ其ノ委員長ニ必要ニ應ニ航空大隊

長ニ協議シ其ノ人馬器材及建物ヲ使用シ

得ルコトニ達相成候ニ就テハ航空隊本科ノ

教育ニ関シ其ノ利用ニ得ル機會ヲ遍ク利

用スルヲ共ニ要スレバ教育科目ノ進度ニ就テ

ハ適宜酌量ヲ加フルコトニ致度依命及通

牒候也

三七四

三月十日